



白梅通信

9月号 R2.9.3発行

宮城県古川黎明高等学校 〒989-6175 宮城県大崎市古川諏訪一丁目4番26号
TEL 0229-22-3148 FAX 0229-22-1024 <http://www.freimei-h.myswan.ne.jp>

2020黎明祭 開催

テーマは「個性が密です 黎明Distance」



8月28日(金)第16回黎明中高合同文化祭が校内発表のみの形で開催されました。今年度はコロナ感染症予防に注意を払いながら、二日分を一日で行うという特別形式。テーマはこの難局を逆手に取った「個性が密です 黎明Distance」(1年4組門間結希さん考案)。

各開催会場は入れ替え制とし、定員の50%をキープ。展示は博物館形式の一方通行形式。演奏・発表団体は会場人員入れ替え制。サッカーグラウンドでは11もの運動部が参加して、様々なアトラクションを工夫するなど、文化部だけでなく、学校全体での文化祭を盛り上げてくれました。午後からは、中学生は第一体育館を使っのクラスパフォーマンスの発表会。高校は3年生のみがアリーナを会場として、ライブでクラスパフォーマンスの実施。1・2年生は事前に撮影・編集したビデオ上映の形で教室で視聴。3年生のライブパフォーマンスもその後教室で上映され、採点は生徒による電子投票で1位(3年2組)が決定しました。今年度は、中高生徒全員が楽しめる工夫が随所に詰まった素晴らしい文化祭となりました。



【優勝した3年2組】

黎明100周年記念式典10/23(金)開催



1920年(大正9年)4月に「宮城県志田郡立古川高等女学校」として誕生した本校は、2005年(平成17年)に男女共学の併設型中高一貫教育校「宮城県古川黎明中学校・高等学校」として生まれ変わり、これまで県北の拠点校として3万余名に及ぶ卒業生を輩出、本年度創立100周年を迎えることになりました。そこで、10月23日(金)に100周年記念式典を開催する運びとなり、6月に全校生徒にキャッチフレーズ及びロゴマークを募集するなど、100周年を盛り上げるべく様々な準備をして参りました。100周年記念事業としては、「同窓会名簿」・「100周年記念誌」の発行、「100周年記念碑」の建立、「記念式典」と「記念講演会」の実施(記念講演会講師は昭和52年卒業の劇作家・俳優で歌手の高泉淳子氏)などを予定しております。



100周年記念キャッチフレーズは、今年度のSSHキャッチフレーズとしても使用。69名の応募作品の中から3年3組の鈴木映里さんの「水絶えぬ郷に匂へる」100年の想いが第1席に選ばれ、記念誌や記念碑にも使用されることになっています。

また、ロゴマークも全校生徒に応募を呼びかけ、美術担当の先生も含めた選考委員会において、応募総数65点の中から1年5組の高橋くらさんの作品が選ばれました。記念誌など様々な所に使用される予定です。

残念ながらコロナ感染症拡大防止のため、記念式典等は縮小形式で実施を予定しています。会場は本校アリーナを予定していますが、参加者は来賓及び高校3年生の一学年に限定し、他の生徒は各教室でリモート視聴する方向で検討しています。

生徒考案のお菓子が商品化され販売中!



昨年度課題研究で取り組んだ生徒たちの頑張りが、この度形になり商品となりました。きなこ(大豆)を使ったカステラ「水絶えぬ郷」です。開発生徒は現在高校3年生の佐藤志穂さん・高橋朱さん・菅原愛華さん・今野由菜さん・

今野礼菜さんの5名です。

本来でしたら、2~3月に商品化される予定でしたが、コロナ感染症予防のため休校となり、この時期となりました。予定より少し遅れたものの生徒の研究の集大成となりました。昨年度の学習のみならず、中学校の田畑からの学びなどが繋がったものと思います。多くの先生方、関係各所にご協力いただき感謝申し上げます。なお、題字は書道部3年の石ヶ森史真さんによるものです。

現在 大崎市三本木「気仙堂」さんにて1個120円(税別)で販売中です。ぜひ一度ご賞味ください。

県総体(代替大会)・地区大会等結果速報!

【ハンドボール部】

7月23日(木・祝)~25日(土)までハンドボール部の県総体代替大会が開催されました。

23日(木)1回戦 対宮城広瀬高(10:45~フラップ大郷21)
29対4で勝ち

24日(金)2回戦 対古川学園(10:45~仙台市若林体育館)
15対8で勝ち

25日(土)準決勝 対聖和学園(9:30~宮城野体育館)
9対34で負け **(ベスト4 第3位)**



昨年度の県新人大会で同地区のライバル古川学園に敗れ4強を逃してから、県総体で決勝の舞台に立つことを目標に練習に励んできました。その矢先の休校、そして次々に発表される大会中止の知らせは、部員たちにとっても、スタッフにとっても大きなショックでした。部活動再開から約1ヶ月、短い期間の中で気持ちを立て直し、体力を取り戻し、チームをもう一度作り上げてこの代替大会に臨みました。約5か月ぶりの試合でしたが、部員それぞれがコート上精一杯のプレーを見せて新人大会の雪辱を果たし、準決勝の聖和学園戦でも最後まで走りきることができました。応援ありがとうございました!

【ソフトボール部】

第69回宮城県高等学校総合体育大会ソフトボール競技(代替)が7/18(土)~19(日)に蔵王町平沢コミュニティグラウンドで行われました。コロナ対策をしつつの試合でしたので、いつもと違う雰囲気の中で行われました。

7/18 <1回戦> 古川黎明 3 2 1 5 3 14

多賀城 0 0 0 0 0 0 ノーヒットノーラン

<2回戦> 古川黎明 1 7 1 12 1 22

佐沼 0 0 2 0 3 5

7/19 <3回戦> 古川黎明 0 0 0 0 0 0 ベスト16

宮城一高 3 0 2 5 X 10

2日目は、力及ばず、攻守にわたり所々で失策をしてしまい、残念な結果となってしまいました。気温が高くなることが予想されたので、熱中症対策をしながら試合に臨みましたが試合開始時にはグラウンドの気温が33℃になり、本校だけでなく、前日まで20℃前後の気温で練習していた選手たちには厳しいグラウンド状況となりました。そんな中でもはつらつとプレーしていた選手たちが印象的でした。応援ありがとうございました。



【バレーボール部】

8月2日(日)に県総体の代替大会として「令和2年度宮城県高等学校バレーボール交流試合2020」が大崎市田尻総合体育館で行われました。

- 古川黎明 対 涌谷
25-5
25-8
2-0(勝利)
- 古川黎明 対 小牛田農林
25-4
25-9
2-0(勝利)



大崎地区7校が参加し、各チーム2試合のみという大会でした。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をしながらの大会であり、会場での応援は、3年生保護者1家庭2名までという制限のもと行われました。しかし、大会を開催してもらえた3年生にとっては、その保護者の方々とチームスタッフが見守る中、試合をすることができ、心に残るものとなりました。これまでの応援に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【ソフトテニス部】

7/23・24・26の3日間、県高校総体代替大会の大崎地区高等学校ソフトテニス大会(地区レベルで開催)が行われました。

<女子>

- 団体戦 Bチーム(2年生主体)第3位
伊藤奈央(2-3) 齋藤恵実(2-2) 高橋莉夏(2-6)
高橋瑠夏(2-5) 門間菜々美(1-4) 亀井愛樹(1-4)
- Aチーム(3年生主体)・Cチーム(1年生主体)は初戦敗退

- 個人戦 新井琴奈(3-3)・鎌田美里(3-5) 第1位
※地区インドア大会に続き連覇達成

<男子>

- 団体戦 Aチーム(3年生メイン)がベスト8
- 個人戦は宮澤・庄司ペア 第3位



【陸上部】

8/9(日)~12(火)の3日間、第69回宮城県高等学校総合体育大会陸上競技宮城県代替大会が宮城県総合運動場で行われました。

- <男子>走高跳 第5位 高橋 歩夢(2年)
- <女子> 100m 第7位 福嶋 唯花(2年)
- 100mH **優勝** 福嶋 唯花(2年)
- 100mH 第5位 高橋 那月(1年)
- 5000mW 第4位 吉岡 利紗(1年)
- 2000mSC 第6位 柳澤真緒那(2年)

8/22~23 第75回宮城県陸上競技選手権大会

<女子> 100mH **第3位** 福嶋 唯花(2年)

【硬式野球部】

令和2年東北地区高等学校野球宮城大会
7/13 2回戦(石巻市民球場) 古川黎明 5-8 築館

第73回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会
8/30 1回戦(鹿島台中央野球場) 古川黎明 0-8 仙台商業

【男子バスケットボール部】

第42回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会
兼ウィンターカップ2020 令和2年度第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会宮城県予選
(兼第69回宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技代替大会)
期日:8月17日(月)~18日(火)
会場:セキスイハイム・スーパーアリーナ
対戦:Gブロック1回戦 古川黎明 46-97 仙台育英学園 敗退

【バドミントン部】

7/29~7/31の3日間、令和2年度宮城県ジュニアバドミントン選手権大会が行われました。

- <男子シングルス> 木村悠馬 3回戦進出
平地従道 2回戦進出
- <女子シングルス> 千葉直美 4回戦進出

【卓球部】

8月9日(日) 令和2年度全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)大崎地区予選会
<男子シングルス>
ベスト16 泉 直士(2年), 鈴木 奨之(1年) ※2名は県大会出場
ベスト32 佐久間 光(2年), 千葉 翔太(1年) ※佐久間選手は代表決定戦で県大会出場
<女子シングルス>
ベスト8 櫻井 優愛(2年) ベスト16 今野 日向(1年) ※2名は県大会出場

宇宙航空研究開発機構(JAXA)と 共同研究契約締結!

この度、本校自然科学部天文チームが、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所(ISAS) HAYABUSA2サンプルリターンカプセル回収観測テーマ募集に応募したところ、2月25日の最終選考を経て正式にテーマとして採用され、JAXAと共同研究契約を締結する運びとなりました。

2014年12月3日に打ち上げられた小惑星探査機HAYABUSA2は、小惑星リュウグウへの2度(2019年2月22日、2019年7月11日)のタッチダウン(サンプル回収)に成功しました。その後、順調に運行し、2020年12月6日に地球に帰還、小惑星リュウグウのサンプルを搭載したカプセルをオーストラリアの「ウーメラ砂漠」に再突入させ、回収される予定です。

今回、採択された研究テーマは、これまで自然科学部天文チームが取り組んできた「流星の分光観測」の手法で、HAYABUSA2カプセルが秒速12kmで大気圏に突入する際の発光(金星ほどの明るさ)を観測するという研究です。現在、新型コロナによるオーストラリアへの入国制限など多くの問題がありますが、これらの課題がクリアできれば、12月6日のカプセル突入においてJAXAのHAYABUSA2サンプルリターンカプセル回収班へ帯同し、オーストラリアウーメラ砂漠で観測を行うこととなります。



【2月25日JAXA最終選考会の様子】



【取り交わした共同研究契約書を手に】